

## 定例調定処理について

**概要**

納付書で返還している借受人のうち、調定が完了していない者について、返還方法別（月賦・半年賦）に、県新世紀統合財務システムに登録できる調定データを作成する。その結果同時に、最近3ヶ月分の納付がない借受人には督促状を送付する。

**調定起票対象者の条件**

返還手段            納入通知書 または 納付書  
 返還方法            月賦（または半年賦）  
 調定残額            あり  
 猶予状況            猶予中または猶予起案中ではない

※直近3ヶ月以内に口座振替から納付書による納付に変更になった者も含む。

**振分方法**

- ① 奨学金種別で分ける。
- ② 返還方法（月賦・半年賦・年賦・一括）毎に分ける。  
     月賦による返還…3ヶ月に1度、3ヶ月分をまとめて処理する。  
     半年賦による返還…6ヶ月に1度、6ヶ月分をまとめて処理する。  
     年賦による返還…1年に1度、1年分をまとめて処理する。  
     一括…貸与額全額を一度の返還として処理する。
- ③ 前回送付分の納付書で、未納がある者と無い者に分ける。

【参考 各奨学金制度と返還方法】

奨学金種類	返還方法
修学支援奨学金 育成奨学金	月賦 半年賦 一括
地域改善対策奨学金（高校） 地域改善対策奨学金（大学） 全日制課程修学奨励金 定時制通信制修学奨励金	半年賦 年賦 一括

**出力する調定データ**

処理年月	調定する月の 1 日（必ず 1 日）
納期限	調定する月の末日
業務コード	該当の業務コードを記入 （業務コードはアルファベット 1 文字と数字 1 文字からなる 任意のコード 例：A 1、B 2 など）
目的	「〇〇奨学金返還のため」
納付金額	それぞれの返還金額

**今回の提案課題**

以上の条件に基づいて作成するデータセットのうち、最も頻繁に作成する必要があるのは、修学支援奨学金と育成奨学金の月賦返還者用の定例調定データである。

今回提案を求めるのは、この修学支援奨学金と育成奨学金の月賦返還者用定例調定データセット 3 ヶ月分（1 回分）を作成するのに必要な工程数である。ただし、課題とした定例調定データセット以外の作成に使えないような仕組みを含む提案は認めない。